

月例統計報告（令和3年3月）

令和3年3月31日
企画振興部

1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（令和3年3月1日現在））

本県の総人口は、946,380人（男 445,170人 女 501,210人）
前月に比べ、1,281人（0.14%）減少
自然増減 1,008人 の減少（出生者 286人 死亡者 1,294人）
社会増減 273人 の減少（県内への転入者 594人 県外への転出者 867人）
この1年間では、13,891人（1.45%）の減少

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（令和3年1月分））

秋田県鉱工業生産指数（平成27年=100）
季節調整済指数 94.3 : 前月比 4.7%低下（3か月ぶりに低下）
原指数 91.1 : 前年同月比 9.8%低下
全国の鉱工業生産指数（平成27年=100）
季節調整済指数 97.8 : 前月比 4.3%上昇

(2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（令和3年1月分））

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出
現金給与総額 235,959円 : 前月比 48.3%減、前年同月比 3.5%増
総実労働時間 138.7時間 : 前月比 6.3%減、前年同月比 0.9%減
常用雇用指数 98.9（平成27年=100）
: 前月比 0.3%増、前年同月比 2.8%減

(3) 物価動向（消費者物価指数（令和3年1月分））

秋田市消費者物価指数 102.0（平成27年=100）
前月比 0.7%上昇、前年同月比 0.9%下落
全国の消費者物価指数 101.6（平成27年=100）
前月比 0.6%上昇、前年同月比 0.6%下落

(4) 景気動向（景気動向指数（令和3年1月分））

先行指数 99.1 前月を 0.6ポイント上回り、3か月連続で上昇
一致指数 59.0 前月を 4.1ポイント下回り、5か月ぶりに下降
遅行指数 90.6 前月を 1.8ポイント上回り、2か月ぶりに上昇

3 景況ダイジェスト（県内・東北・全国）

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和3年3月1日現在)」)

(1) 令和3年3月1日現在の本県の総人口は 946,380人(男 445,170人 女 501,210人)となり、前月に比べ 1,281人(0.14%)の減少となった。

自然増減 1,008人の減少(出生者 286人 死亡者 1,294人)

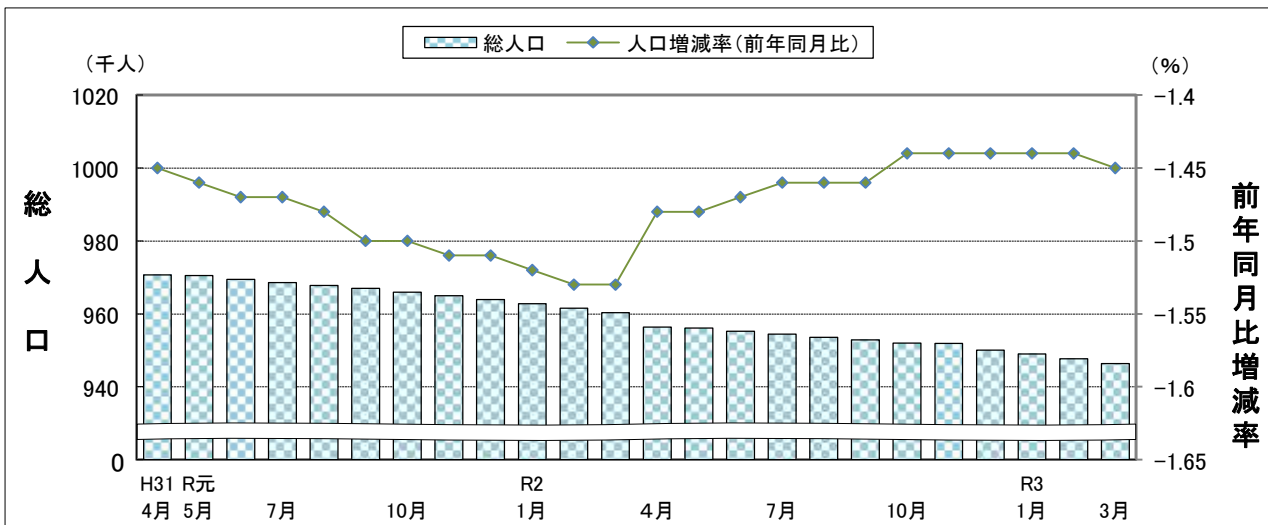
社会増減 273人の減少(県内への転入者 594人 県外への転出者 867人)

(2) この1年間では、13,891人(1.45%)の減少となった。

自然増減 11,113人の減少(出生者 4,427人 死亡者 15,540人)

社会増減 2,778人の減少(県内への転入者 11,552人 県外への転出者 14,330人)

(3) 世帯数は 389,181世帯 となり、前月に比べ 242世帯の減少となった。



○自然増減と社会増減の推移

年 月	自 然 増 減			社 会 増 減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
R2(2020)年 2月	331	1,235	-904	643	972	-329	-1,233
R2(2020)年 3月	363	1,336	-973	2,493	5,445	-2,952	-3,925
" 4月	396	1,264	-868	2,106	1,491	615	-253
" 5月	343	1,220	-877	648	653	-5	-882
" 6月	405	1,159	-754	712	744	-32	-786
" 7月	420	1,237	-817	848	874	-26	-843
" 8月	377	1,203	-826	842	756	86	-740
" 9月	385	1,172	-787	772	822	-50	-837
" 10月	370	1,272	-902	773	793	-20	-922
" 11月	367	1,305	-938	588	656	-68	-1,006
" 12月	375	1,483	-1,108	621	626	-5	-1,113
R3(2021)年 1月	340	1,595	-1,255	555	603	-48	-1,303
" 2月	286	1,294	-1,008	594	867	-273	-1,281
直近1年間の累計 (R2.3~R3.2)	4,427	15,540	-11,113	11,552	14,330	-2,778	-13,891

(参考)

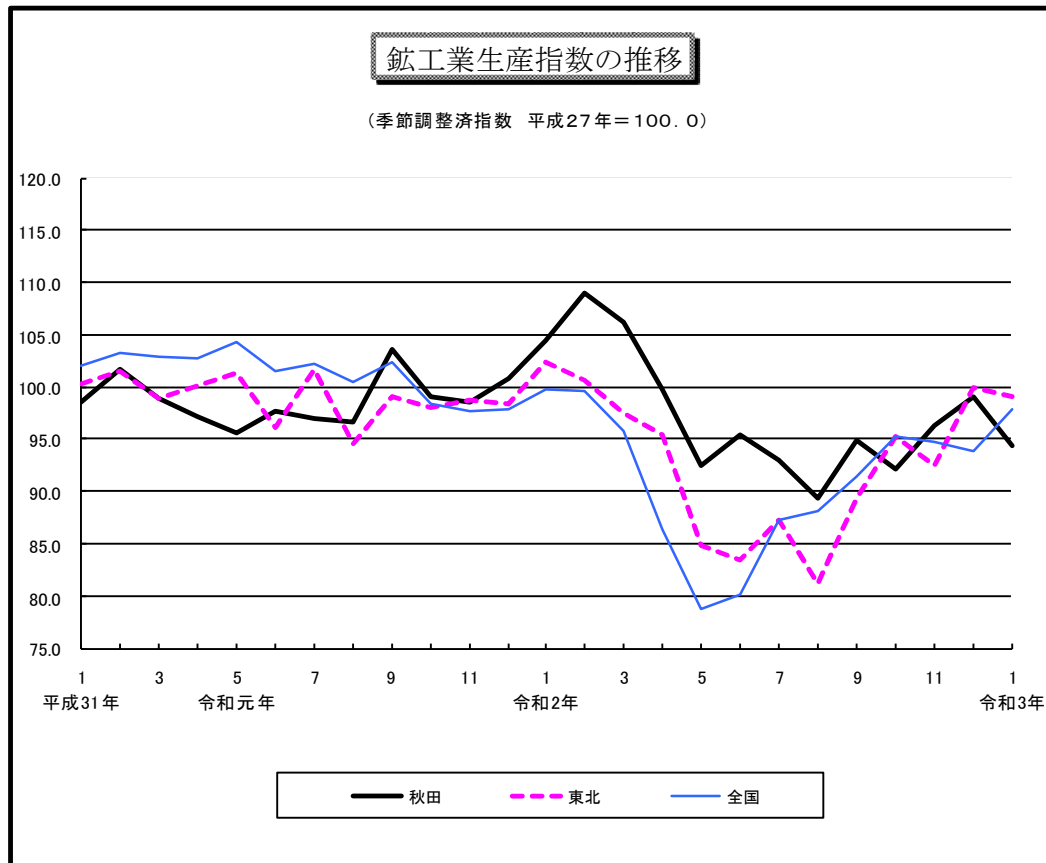
H31.3~R2.2の累計	4,650	15,771	-11,121	12,581	16,379	-3,798	-14,919
---------------	-------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

2 秋田県経済の動き

(1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和3年1月分)」)

令和3年1月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が94.3(前月比4.7%減)となり、3か月ぶりに低下した。また、原指数は91.1となり、前年同月と比べ9.8%の低下となった。

なお、全国の季節調整済指数は97.8となり、前月比で4.3%の上昇となった。また、東北は99.0となり、前月比で0.7%の低下となった。



○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
パルプ・紙・紙加工品工業	98.7	▲ 36.5	製紙パルプ
□低下した主な業種			
生産用機械工業	77.6	▲ 44.3	その他の特殊産業用機械、産業用ロボット
金属製品工業	79.3	▲ 25.0	配管工事用附属品
輸送機械工業	83.3	▲ 16.0	駆動伝導操縦装置部品

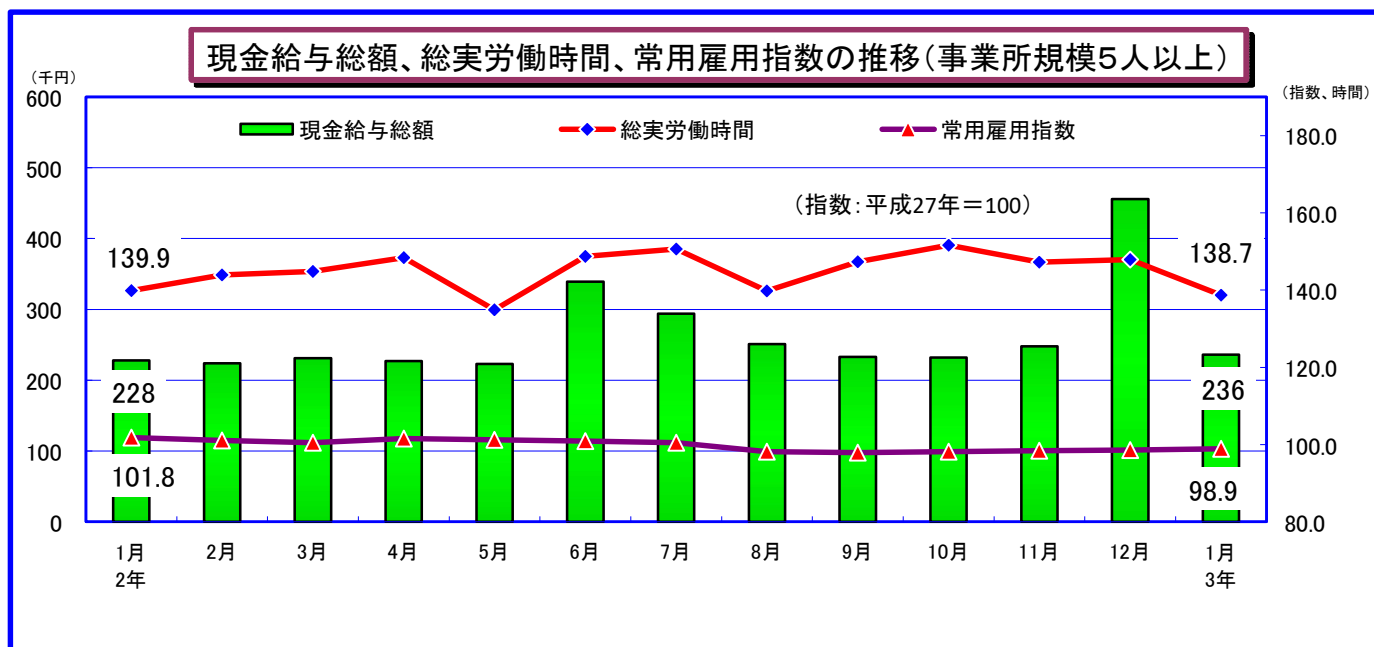
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和3年1月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和3年1月の現金給与総額は235,959円となり、前月比で48.3%の減、前年同月と比べ3.5%の増となった。

総実労働時間数は138.7時間となり、前月比で6.3%の減、前年同月と比べ0.9%の減となった。

常用雇用指数は98.9となり、前月比で0.3%の増、前年同月と比べ2.8%の減となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
運輸業、郵便業	327,610	13.0
卸売業、小売業	197,822	10.2
教育、学習支援業	335,458	9.6
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	136,387	▲ 3.2

2 総実労働時間

増加した主な産業	時間	前年比(%)
情報通信業	156.4	18.3
生活関連サービス業、娯楽業	145.9	8.9
複合サービス事業	148.7	5.3
減少した主な産業	時間	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	109.9	▲ 13.8
学術研究、専門・技術サービス業	125.4	▲ 9.5
運輸業、郵便業	162.6	▲ 7.3

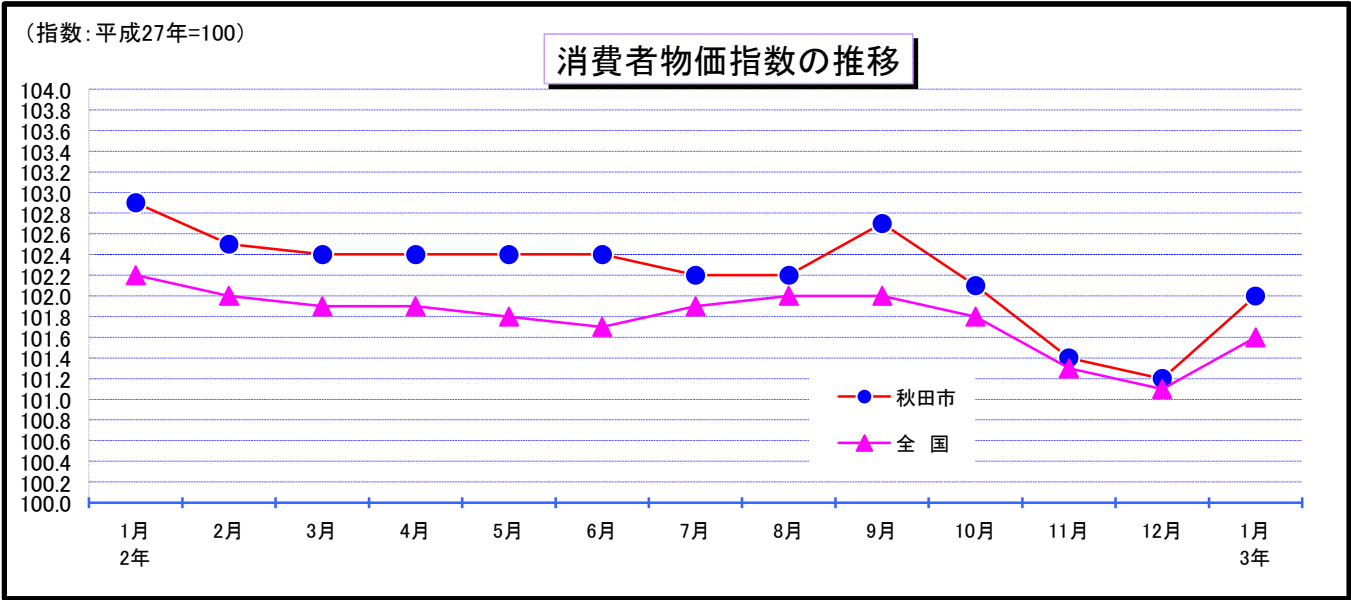
3 常用雇用指数

増加した主な産業	指数	前年比(%)
サービス業	119.6	3.5
減少した主な産業	指数	前年比(%)
製造業	91.4	▲ 13.9
金融業、保険業	84.5	▲ 8.6
宿泊業、飲食サービス業	94.7	▲ 6.8

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和3年1月分)」)

令和3年1月の秋田市消費者物価指数は102.0(平成27年＝100)となり、前月比で0.7%の上昇、前年同月比で0.9%の下落となった。

なお、全国の消費者物価指数は101.6となり、前月比(季節調整値)で0.6%の上昇、前年同月で0.6%の下落となった。



10大費目指数の動き(平成27年=100):秋田市

	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	生鮮食品を除く食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
当月指数	102.0	101.7	102.2	101.0	106.4	107.7	106.1	101.5	97.2	99.2	100.5	104.9	98.6	100.6	103.7	97.7
前月比(%)	0.7	0.3	0.3	0.5	1.8	10.5	0.1	0.7	-0.5	-0.5	-3.5	0.2	-0.3	0.0	3.3	0.3
前年同月比(%)	-0.9	-1.0	0.0	0.0	0.1	0.7	0.0	0.9	-7.2	1.5	-2.1	-0.3	-2.5	-2.9	-0.6	0.9

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
住居	設備修繕・維持	3.3	0.10
家具・家事用品	家事用消耗品	4.1	0.04
諸雑費	たばこ	9.6	0.05

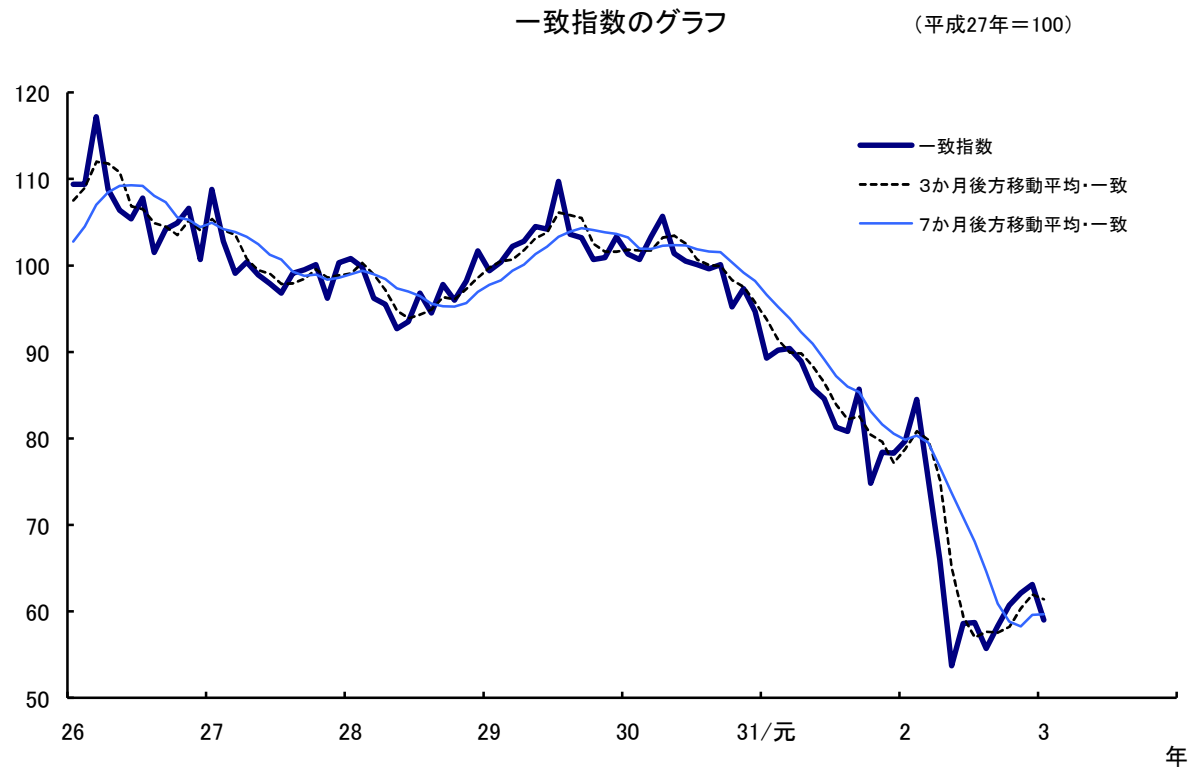
〔下落〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
光熱・水道	他の光熱	▲17.2	▲0.30
交通・通信	自動車等関係費	▲4.2	▲0.35
被服及び履物	洋服	▲0.5	▲0.01

※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向（「秋田県景気動向指数(令和3年1月分)」）

先行指数 99.1 前月を 0.6ポイント上回り、3か月連続で上昇した。
一致指数 59.0 前月を 4.1ポイント下回り、5か月ぶりに下降した。
遅行指数 90.6 前月を 1.8ポイント上回り、2か月ぶりに上昇した。



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.23	1.31	0.08	1.10
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	16.0	21.5	5.50	-0.70
鉱工業生産指数(H27年=100)	99.0	94.3	-4.75%	-0.92
生産財生産指数(H27年=100)	90.3	89.6	-0.78%	-0.10
百貨店・スーパー販売額(%)	-2.0	-4.1	-2.10	-0.30
新車販売台数(台)	2,878	3,016	4.79%	0.60
投資財生産指数(H27年=100)	109.4	94.3	-13.80%	-1.49
建築着工床面積(非居住用)(㎡)	18,060	13,629	-24.53%	-0.39
秋田空港利用者数(人)	31,776	14,808	-53.40%	-1.91
CI 一致指数(全体値)	63.1	59.0	-4.1	

景況ダイジェスト（令和3年3月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容
県内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和3年3月15日公表	〔概況〕県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状態にあるものの、持ち直し基調にある。 ・需要面をみると、個人消費は、サービス消費が落ち込んでいるものの、全体としては持ち直し基調にある。公共投資は、緩やかな増加基調にある。住宅投資は、弱い動きとなっている。設備投資は、弱い動きとなっている。 ・生産は、緩やかに回復している。 ・雇用・所得環境は、弱い動きとなっている。 ・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合（秋田市））は、前年を下回った。
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用対策本部 （産業政策課） 令和3年1月分 令和3年3月11日公表	〔概況〕県内経済は、個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、サービス業は新型コロナウイルス感染症の影響から、弱めの動きとなっている。製造業は全体として堅調な動きが続いている。 製 造 業：木材・木製品等で落ち込みが続いているものの、電気機械等に好調な動きがみられ、全体としては堅調な動きが続いている。 建 設 業：公共投資は3か月連続で前年同月を上回った。 小 売 業：全体としては堅調に推移している。 サービス業：新型コロナウイルス感染症の影響から、旅館・ホテルが悪化し、全体として弱めの動きとなっている。 〔全業種〕DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は12.1から▲24.4、現在の資金繰りは▲6.4から▲10.3、3か月先の業況見通しは▲20.4から1.3となっている。
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和3年1月分 令和3年3月号	〔概況〕県内経済は、厳しい状況が続いているが、緩やかに持ち直している 機械金属の生産は前年を下回ったものの、電子部品は前年を上回ったほか、木材にも持ち直しの動きがみられる。建設は、住宅着工で弱い動きが続いているが、公共工事は前年を上回った。個人消費は持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和3年2.3月号	〔県内経済概況〕コロナ禍で依然厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直す県内経済 最近の県内経済は、足元は住宅投資が依然低水準ながら前年を上回り、公共投資も堅調な水準を維持しています。また、個人消費も全体としては増加傾向にあるなど、需要面には持ち直しの動きが見られます。この間、雇用情勢は弱含みながら引き続き求人数が求職数を上回っており、生産活動は主力の電子部品や機械金属が増加基調にあるなど、県内経済はコロナ禍で依然厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しています。
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和3年1月分 令和3年3月2日公表	〔概況〕令和3年1月の有効求人倍率（季節調整値）は1.31倍。前月を0.08ポイント上回る。（全国平均は1.10倍、前月を0.05ポイント上回る。） 有効求人数（季節調整値）は前月に比べて1.4%増加、有効求職者数（同）は5.2%減少した。 ① 新規求人数は8,002人、前年同月比6.1%（518人）減少。同比21か月連続で減少した。 ② 有効求人数は21,605人、前年同月比4.2%（948人）減少。同比23か月連続で減少した。 ③ 新規求職者数は4,032人、前年同月比18.2%（897人）減少。同比16か月連続で減少した。 ④ 有効求職者数は15,983人、前年同月比1.8%（275人）増加。同比6か月連続で増加した。
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 令和3年2月度 令和3年3月2日公表	（負債額1,000万円以上の企業倒産） 倒産件数 0件 負債総額 0円 前年同月比 ▲100.00% ▲100.00% 前年同月 3件 6,100万円 2021年（令和3年）1月度に続き、集計史上4度目の倒産発生ゼロ
	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和3年2月分 令和3年3月15日公表	〔業界判断指数〕単位：％P 業界全体 製造業 非製造業 売上高 収益状況 1月分DI -65.0 -79.2 -55.5 -65.0 -60.0 2月分DI -68.3 -83.3 -58.3 -70.0 -65.0 比較増減 -3.3 -4.1 -2.8 -5.0 -5.0
	秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和3年2月分 令和3年3月19日公表	対前年度増減率 件数23件増加、請負金額46.6%減少（金額単位：百万円） 区分 令和2年2月 令和3年2月 対前年度増減率（％） 発注者 件数 請負金額 件数 請負金額 件数 請負金額 国 9 5,072 8 2,331 -11.1 -54.0 独立行政法人等 3 66 1 15 -66.7 -75.9 県 16 2,566 21 866 31.3 -66.2 市町村 8 888 27 1,362 237.5 53.3 地方公社 0 0 0 0 - - その他※ 1 22 3 24 200.0 9.1 合 計 37 8,616 60 4,600 62.2 -46.6 ※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者

県内	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和3年1月28日公表	項 目	内 容						
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある						
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある						
		生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある						
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている						
		設備投資	2年度は減少見込み						
		企業収益	2年度は減益見込み						
		企業の景況感	「上昇」超に転じている						
		住宅建設	前年を下回っている						
		公共事業	前年度を上回っている						
秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 2020年12月調査 令和2年12月14日公表	〔業況判断DI〕 単位：％ポイント		2020年 9月	2020年 12月	変化幅	2021年 3月(予測)	変化幅		
	全産業	-32	-12	20	-21	-9			
	製造業	-38	-10	28	-16	-6			
	非製造業	-28	-14	14	-23	-9			
東北	管内の経済動向 東北経済産業局 令和3年1月分 令和3年3月17日公表	全体の動向：緩やかに持ち直している 鉱工業生産：持ち直している 個人消費：持ち直しの動きに足踏みがみられる 住宅着工：弱まっている 公共投資：このところ増加している 設備投資：弱含みとなっている 雇 用：弱い動きとなっている 企業倒産：落ち着いた動きとなっている							
		項 目	内 容						
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある						
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している						
		生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している						
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている						
		設備投資	2年度は減少見込み						
	企業収益	2年度は減益見込み							
	企業の景況感	「上昇」超に転じている							
	住宅建設	前年を下回っている							
	公共事業	前年度を上回っている							
	管内経済情勢報告 財務省東北財務局 令和3年1月28日公表								
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある						
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している						
生産活動		新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している							
雇用情勢		新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている							
設備投資		2年度は減少見込み							
企業収益		2年度は減益見込み							
全国	月例経済報告 内閣府 令和3年3月 令和3年3月23日公表	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。 ・個人消費は、このところ弱含んでいる。 ・設備投資は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。 ・公共投資は、堅調に推移している。 ・輸出は、このところ増勢が鈍化している。 ・輸入は、持ち直しの動きがみられる。 ・貿易・サービス収支は、黒字となっている。 ・生産は、持ち直している。 ・企業収益は、感染症の影響により、非製造業では弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。 ・企業の業況判断は、厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。 ・倒産件数は、減少している。 ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。 ・国内企業物価は、緩やかに上昇している。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。							
		企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和2年12月調査分 令和2年12月14日公表	〔業況判断DI〕 単位：％ポイント		＜大企業＞		＜中小企業＞		全規模合計
			製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業		
		2020 / 9月	-27	-12	-44	-22	-28		
		2020 / 12月	-10	-5	-27	-12	-15		
		変化幅	17	7	17	10	13		